



梱包ガイド

大型貨物およびパレット貨物の
適切な梱包方法

DHL Express – Excellence. Simply delivered.

2022年1月1日
より有効



適切な梱包 一梱包あたり1,000KG、300CMまで



目次

貨物に関する制限事項	3
適切な梱包	4
パレット	5
パレット梱包	6
貨物の保護	7
貨物の固定	8
品目別ガイド	9

DHLのエクスプレスネットワークは世界トップクラスの国際輸送サービスを提供します。このネットワークは封筒、小包および規定内の大型貨物、パレット貨物用にデザインされています。

DHLエクスプレスのネットワークを通じて輸送される貨物には厳密な重量と寸法の制限が適用され、すべての貨物が弊社の施設、標準化された車両および航空機によって安全かつ確実に取り扱われます。

大型貨物またはパレット貨物は、エクスプレス輸送に適した方法で梱包される必要があります。本ガイドには、お客様に守っていただきたい必要最小限の梱包要件と、大型貨物の品目別の梱包方法を記しています。

DHLエクスプレスは、お客様に本ガイドの活用をお願いしています。本ガイドは、貨物を安全かつ確実に輸送するための基本的な梱包方法を示しています。本ガイドは、各業界で作成された梱包基準に取って代わるものではありません。他の貨物、輸送機器、または人への損傷を防ぐため、エクスプレス業界で要求される最小限の基準を示すものです。

これら最小限の基準を守っていただけない場合、DHLはお客様の貨物のお取り扱いができなくなります。

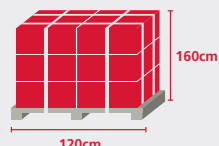
クイックガイド

下記は梱包方法、重量と寸法の制限に関する基本事項です。



重量

- 一梱包あたり70kgを超える貨物には手数料を適用させていただきます。
- 一梱包あたり1,000kgを超える貨物はお取り扱いできません。
- 一運送状あたり3,000kgを超える貨物はお取り扱いできません。



パレット寸法

- 幅と長さが120cm以下の標準サイズのパレットをご使用ください。
- 貨物の積まれたパレットの高さは160cm以下でなければなりません。



大型貨物寸法

- 一梱包あたり一辺の長さ300cmを超える貨物はお取り扱いできません。
- 注:幅は最大 200cm までとなります。



固定され、積み重ね可能

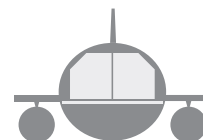
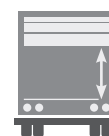
- 貨物は段ボール箱や木枠梱包に入れるか、パレットにしっかりと固定して梱包してください。
- 安全に積み重ねられることを確認してください。
- 特殊な形状や積み重ねできない貨物には手数料を適用させていただきます。

貨物に関する制限事項

貨物の重量と寸法の制限は、弊社の航空機、トラックおよび施設の重量と寸法の制限を反映しています。制限を超える重量と寸法の貨物は、標準的な配達車両等に入らない可能性があるため、特別予約が必要になります。特別な車両または取り扱いが必要な場合、手数料を適用させていただきます。

DHLの重量と寸法の制限については、以下の表をご覧ください。ご不明な点は、[弊社カスタマーサービス](#)にお問い合わせください。

注：弊社のグループ会社、DHLグローバルフォワーディングジャパンは、DHLエクスプレスでお取り扱いが難しい大型貨物を取り扱っております。詳しくはウェブサイトlogistics.dhlをご覧ください。



一梱包あたりの制限

重量	手数料	特別予約
70kg以内		
70kg超～300kg	✓	
300kg超～1,000kg	✓	

寸法	手数料	特別予約
すべての辺120cm以内		
いずれか一辺120cm超	✓	
いずれかの辺300cm超	お取り扱いできません	

一運送状あたりの制限

総重量	手数料	特別予約
3,000kg以内		1,000kg超貨物の場合必要
3,000kg超	お取り扱いできません	

個口数	手数料	特別予約
99個口まで (各30kg未満)		
99個口超		✓

※重量、総重量は、実重量、容積重量のどちらへも適用となります。

適切な梱包

大型貨物またはパレット貨物は、弊社の規格化された自動処理施設、車両、航空機で輸送されるため、これらに適した梱包である必要があります。下記は貨物の梱包時に考慮していただきたい4つの大切な要件です。これらの要件を守っていただくことで、手数料なくお取り扱いできます。



積み重ね

貨物の上に他の貨物を積み重ねられるよう梱包してください。



フォークリフト

大型貨物はフォークリフトで運搬されるため、貨物を必ずパレットまたはフォークリフトで運搬可能な資材に積載し、安全で損傷なく輸送できるようにしてください。



傾き

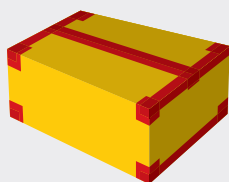
貨物がしっかりと固定され安定していることを確認してください。貨物は航空輸送中に傾きません。



衝撃および振動

貨物を機械で取り扱う際に、振動と小さな衝撃が発生する可能性があります。十分な緩衝材を使用して梱包してください。

段ボール箱、木枠梱包、パレットの使用



段ボール箱

軽量貨物(30kg以内)は、段ボール箱に梱包します。詳しい梱包方法については、「DHLエクスプレス貨物用梱包ガイド」をご覧ください。

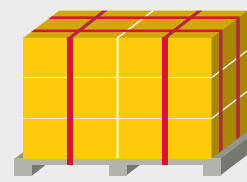
構造的に弱い、長尺(120cm超)、細長い貨物を段ボール箱で梱包する場合は注意が必要です。梱包を補強するか、木枠梱包を使用してください。



木枠梱包

工業用機器など重量がある大型貨物は、木枠梱包してください。

上質な硬材で貨物を梱包し、対角線を硬材で補強してください。あらかじめ熱処理または化学処理されている硬材を使用してください。



パレット

大型貨物や個数口貨物はパレットに置き、本ガイドに記載されている方法で確実に固定してください。

パレットの上部表面が水平で平らになるようにし、貨物がパレットからはみ出さないようにしてください。

注:重量が一梱包あたり70kgを超える貨物は、フォークリフトで移動できるよう、必ず木枠梱包またはパレットにしっかりと固定して梱包してください。重量が30~70kgの貨物にはパレットまたは木枠梱包をお勧めしますが、段ボール箱の場合は、必ず内容物の全重量を支えられる強度の箱を使用してください。貨物の重量によっては貨物の移動にフォークリフトなどの特殊な機器が必要になるため、貨物が適切に梱包されていない場合、お取り扱いできない場合があります。

パレット

パレットの種類、パレットの積載方法、貨物の保護および固定方法など、パレット貨物に関してDHLエクスプレスが推奨する基準について簡単に説明します。

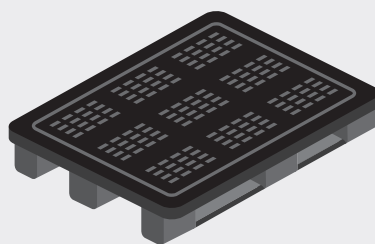
寸法超過による手数料を回避するために、標準サイズパレットのご使用をお勧めします。標準的なパレットの長さおよび幅はともに120cm以内です。

適切なパレット



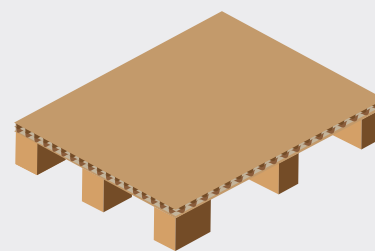
木製

- 強度が高く重い貨物に最適
- 再利用可能
- 入手しやすくプラスチック製よりも安価
- 国際輸送に使用する場合は、使われている木材が発送先の国際処理基準を満たしているか確認してください。
- 安定性を高めるためにパレット底部に押さえ材が付いているか確認してください。



プラスチック製

- 積載能力が高く、表面に滑止め加工がされている
- 軽量
- 湿気や腐敗に強い
- 木製パレットに比べると高価



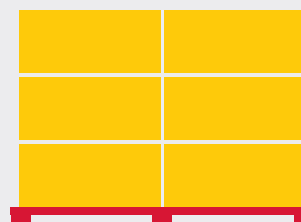
段ボール紙製

- 軽量
- 100%リサイクル可能
- 再利用不可能
- 重量貨物や湿度の高い環境には不向き
- 低価格

パレット梱包

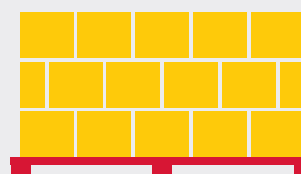
コラム型スタック

- コラム型は、輸送中の強度を維持し、貨物を圧迫から守るのに最も優れた方法です。
- 箱と箱の角と端を揃えコラム型に貨物を積むと、最も強い積載強度が得られます。さらに固定バンドまたは伸縮性のあるラップで貨物を固定するとパレットが安定し安全に取り扱えます。



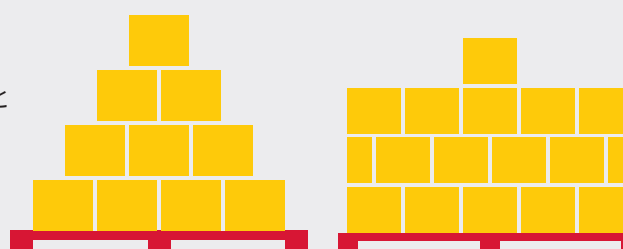
Tスタック

- 箱の内容物が堅い品物である場合、Tスタックで貨物を積むとパレットの安定性が高まります。
- Tスタックは圧迫強度が50%減るため、内容物が堅い品物でない場合、損傷を受けやすくなります。
- 内容物が堅い品物でない場合は、箱と箱の角と端を揃えて積むと積載強度が増します。



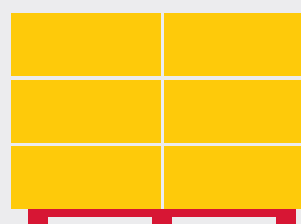
ピラミッド型スタック

- ピラミッド型スタックは上部表面が平らにならないため、損傷を受けやすく、配送遅れの原因となる可能性があります。また、手数料の適用対象となります。
- 箱の数が奇数の場合に上部表面を平らにするには、空箱を使用するか、上部表面が平らになった時点で、積みきれない箱を個別に発送するなど、積み方を考えていただく必要があります。



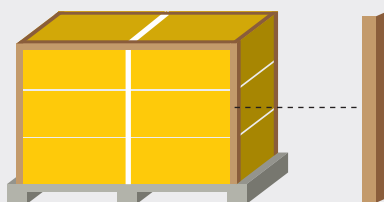
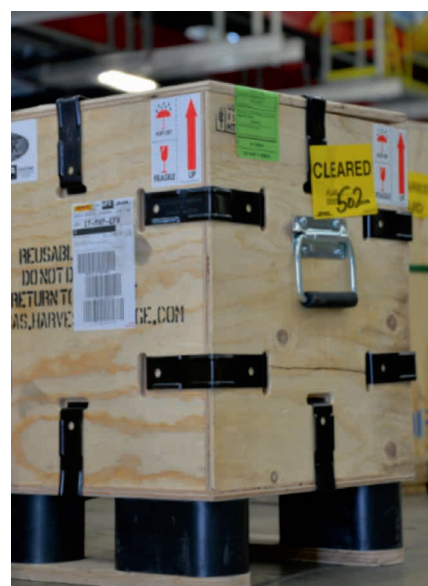
突き出し型スタック

- 貨物に損傷を与えるため、箱がパレットの端からはみ出さないようにしてください。
- 貨物をパレットからはみ出して積むと、個々の貨物の強度が30%以上減少してしまいます。



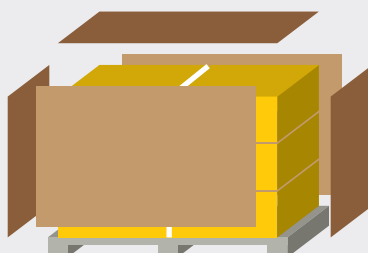
貨物の保護

以下に示すさまざまな措置を講じることで、輸送中の損傷を防ぐことができます。これらはすべてを網羅するものではなく、気泡緩衝材や木枠梱包材など、他の方法を用いることもできます。



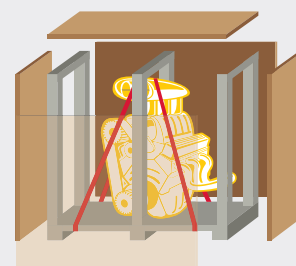
角部分の保護材

直角部分の保護材は、輸送中の箱の直角部分への損傷を低減するだけでなく、貨物の安定性を保ちます。縦および横方向の直角部分を保護するようにしてください。



板紙

上部、底部、側面に板紙を配置することで、保護壁の役割を果たします。さらに、パレットの上部と底部の板に対して貨物の重量を分散させます。

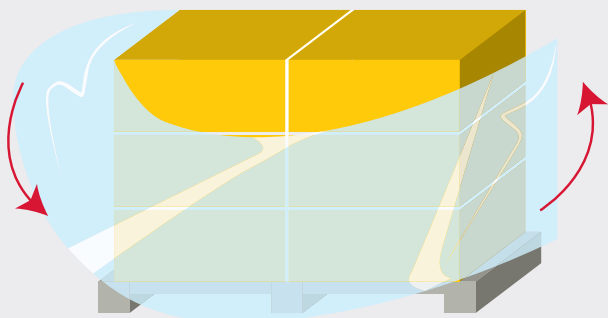


支柱材

巻き電線などの特大サイズの貨物を輸送する際は、木材または金属などを使用して貨物をパレットに確実に固定してください。固定することで輸送中の貨物が横に移動するのを防止します。

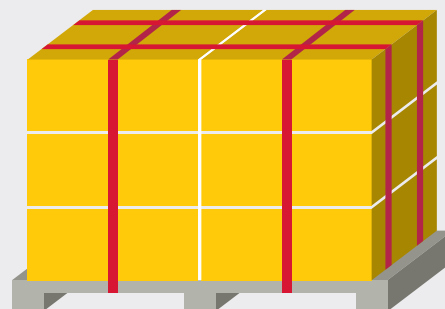
貨物の固定

固定バンドとシュリンクラップは、貨物をパレットに確実に固定するための主要な方法であり、大型貨物やパレット貨物に必ず使用します。使用する固定バンドの種類には、スチール、ナイロン、ポリエステル (PET)、ポリプロピレンなどがあります。スチール製は重量のある貨物に適しており、ナイロンやPET製はより軽量の貨物に適しています。プラスチック製固定バンドを使用する場合は、そのバンドが高い耐久性を備え、強く固定できることを確認してください。



シュリンクラップ

- シュリンクラップを巻くときは、フィルムの先端に20ゲージの伸縮寸法を確保し、パレット部またはフォークリフトで移動可能な底部までフィルムを巻いてください。
- シュリンクラップは水平方向にきつめに巻きます。
- 最初に巻いたシュリンクラップの50%に達する位置から二重巻きにしながら、上方向にフィルムを巻き続けます。
- 貨物の上部では、シュリンクラップを各コーナー部分から斜め十字に巻き、貨物の全体がフィルムで覆われるまで巻きます。
- 最後に、シュリンクラップを底部に向かって急角度に回転させて、パレット底部にしっかりと重ねて巻きます。

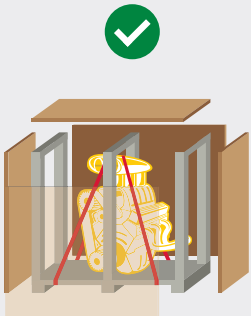


固定バンド

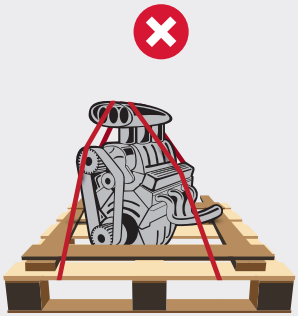
- 固定バンドを適切に使用すると、貨物を固定できます。
- 手作業で固定する場合は、最初にパレットの下に固定バンドを通してから、貨物の上部に回して垂直に固定します。
- これを全ての四方向に繰り返し、少なくとも4本の固定バンドでしっかりと固定します。
- 横方向の角部分に保護材を使用し、固定バンドが上部の角に切り込まないようにします。
- さらに、シュリンクラップを使用し、輸送中の環境から貨物を保護します。

品目別ガイド

頻繁に輸送される大型貨物の品目別ガイドです。本ガイドに沿って梱包することで、貨物が安全かつ確実に輸送されます。お客様の貨物が未梱包もしくは不十分な梱包など、安全性に問題がある場合、他の貨物や輸送機器、人員に危険が生じる可能性があるため、お取り扱いできません。また、お客様の貨物が最適に梱包されていない場合、手数料を適用させていただきます。



✓



✗

各種自動車部品

- 各種自動車部品は、必ず木枠梱包し、パレットに固定して丈夫な板紙と角部分の保護材で全方向を覆ってください。
- 輸送前に、部品から必ず全ての液体または燃料を抜いてください。
- 取り扱い中に損傷の危険性があるため、部品等がパレットの枠からはみ出さないように梱包してください。部品等がパレットからはみ出す場合は、部品を木枠梱包するか、フォークリフトで運搬できる適切なサイズの底部を使用してください。



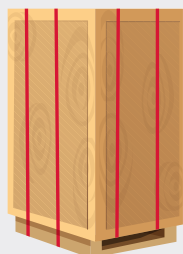
✓



✗

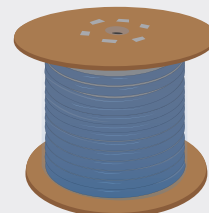
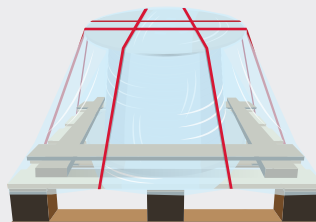
自動車およびその他車両のタイヤ

- 自動車およびその他車両のタイヤは、必ずシュリンクラップで包装してから、標準的なパレットに金属または頑丈なプラスチックの固定バンドで固定してください。
- タイヤや他の貨物への損傷を防ぐために、必ずタイヤの上部に板紙、木製またはプラスチック製の保護ボードを置いてください。
- 特注の段ボール箱を使用する場合は、タイヤの重量に適したものを用意し、端の部分は曲線ではなく、平面になるようにしてください。
- 未梱包もしくは不十分な梱包のタイヤはお取り扱いできません。



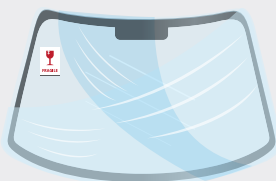
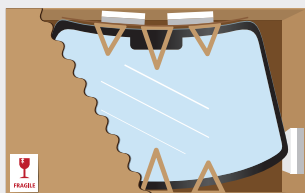
工業機器

- 工業機器は、必ず木枠梱包もしくは、パレットに留め具で確実に固定し、補強用の板紙と角部分の保護材で周囲を四角形に覆った状態でなければなりません。
- 必ず機器からすべての液体または燃料を完全に排出してください。
- 上部が大きな機器は、輸送中に不安定になるのを防ぐため、底部が広い補強材の上に積載してください。
- 安全に積載されていない貨物には手数料を適用させていただきます。



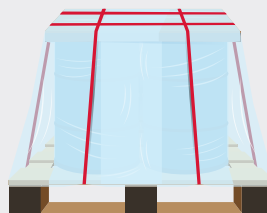
巻き電線およびスプール

- 巻き電線は個別の輸送に適していませんので、必ずパレットに梱包してください。
- 手数料を回避するため、巻き電線は適切なサイズのパレットに横向きに積載し、安全に積み重ねられるようにします。
- 重量のある巻き電線 (50kg以上) は、木材でパレットに固定する必要があります。
- その後、必ず巻き電線と木材を、スチール製固定バンドか頑丈なプラスチック製ストラップを使用し、縦と横の各2か所でパレットに確実に固定してください。
- リールに巻かれている電線が損傷しやすい材質の場合は、リールを木枠で梱包するか、または波形の外板で覆うことをお勧めします。



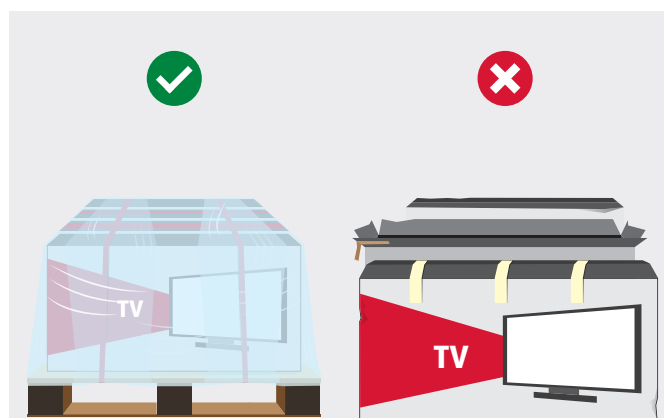
ガラス板、フロントガラス

- ガラス板や車両フロントガラスは箱または木枠に梱包し、ねじれや、他の貨物、通常の輸送設備などから保護しなければなりません。
- 板やガラスの縁を発泡スチロールで覆い、さらに気泡シートで完全に梱包します。
- 外箱のサイズに合わせて特別成型した発泡スチロールをガラス板やフロントガラスのすべての縁の周囲に配置してください。
- その後、パネルと成型発泡スチロールを二重壁構造の段ボール箱に入れてください。
- 内部に挿入する発泡スチロールは、パネルやガラスが梱包箱内で移動するのを防ぎ、外箱の内壁から最低でも6cmの間隔を維持する必要があります。
- 外箱のすべての側面に「ガラス」の取り扱い注意ラベルを貼付します。



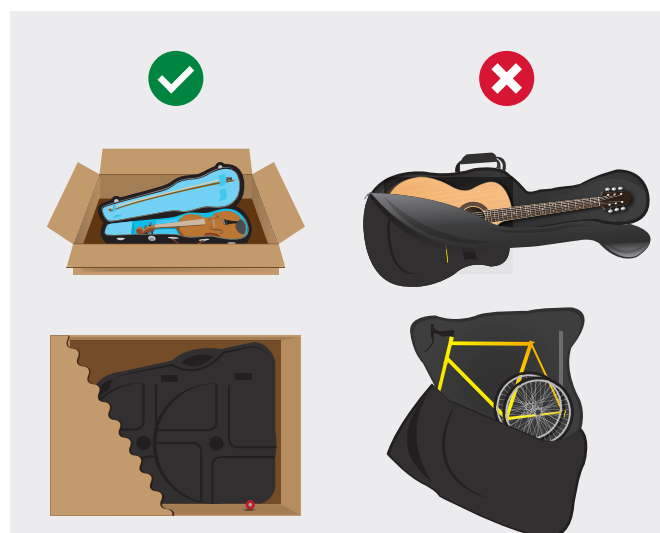
ドラム缶

- ドラム缶は必ずプラスチック製または硬材製のパレットに載せます。
- 繊維板を必ずドラム缶の上部とドラム缶とパレット底部の間に置き、輸送中の移動や損傷を防いでください。
- 2本以上の金属製または頑丈なプラスチック製の固定バンドを使用してドラム缶をパレットに確実に固定してください。ドラム缶とストラップの間にコーナークリート/固定バンド保護具を使用し、固定バンドの損傷を防ぎます。
- 複数のドラム缶を発送する場合は、パレット上に固定する前にドラム缶をまとめて固定バンドで結束してください。
- 少量の液体物を発送する場合は、logistics.dhlにて梱包方法全般について説明している「DHL エクスプレス貨物用梱包ガイド」をご覧ください。



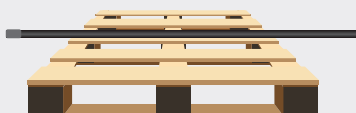
大型電気機器

- 大型テレビを発送する際は特別な注意が必要です。メーカーは大量輸送用の梱包方法を設計することが多く、エクスプレス輸送の要件を考慮していません。
- 長さが120cmを超える1台のテレビを発送する場合、手数料を適用させていただきます。
- メーカー出荷時の梱包材を使用する場合は、箱内の隙間を緩衝材などで埋めてください。
- メーカーの梱包材が二重構造でない場合は、適切な二重構造の段ボール箱で梱包してください。
- 複数のテレビを発送する場合は、貨物がはみ出さない十分な大きさのパレットに固定してください。頑丈なプラスチック製固定バンドを使用して、テレビをパレットに固定してから、シュリンクラップで包装してください。上部の積載の安全性をより高めるには、箱の上にクッション材を置き、さらにすべての面を板紙で覆います。



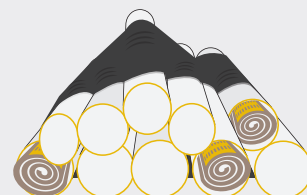
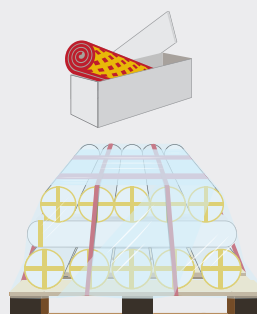
手荷物、スポーツ用品、楽器

- 手荷物、スポーツ用品、楽器は専用のハードケースに入れて発送してください。ソフトケースはエクスプレス輸送に適していません。
- 損傷を防ぐために、ハードケースを段ボール箱に入れてください。
- ハードケースを用意できない場合は、品物を大きめの気泡の緩衝シートで複数回包み、二重構造の段ボール箱に入れます。輸送中に箱内で品物が動くのを防ぐために隙間に緩衝材を詰めます。
- 完全に箱に入っていることを確認してください。箱から突き出ていると、損傷の恐れがあります。
- DHLはスポーツ用品や楽器などの専用梱包材をご用意できません。



長いチューブ、パイプ

- 長さが300cmを超えるチューブやパイプはお取り扱いできません。長さが120cmを超えるチューブやパイプには手数料を適用させていただきます。
- 長さのある長方形の段ボール箱は構造的に非常に弱く、破損しやすいです。
- 長さのあるものは、三角形の梱包材を選択いただくか、らせん状の筒を箱の中に入れ、転がったり損傷したりするのを防ぎます。
- 積み重ね不可のチューブや、強度が弱く積み重ねできないチューブの発送には手数料を適用させていただきます。
- 長くて、重量が30kg以上のものはフォークリフトで運搬可能な木枠内に梱包してください。
- チューブがパレットからはみ出さないよう梱包してください。パレットまたは木枠は、必ず輸送する品物の全長を完全に覆う大きさのものがが必要です。
- 金属製または破損しないプラスチック製固定バンドでパレットにパイプを固定し、輸送中に品物が滑り落ちないように、パレットの端にプラスチック製または木製の梱包材を使用してください。



カーペット、反物

- カーペットや布地は常に短辺で巻いてください。
- 品物が折れるのを防ぐため、カーペットや布地は強度の高いボール紙の芯に巻きつけてください。
- 厚紙や板でロールの端を損傷から保護することが重要です。
- 厚手のビニール袋の中にロールを入れるか、または、丈夫なビニールシートでロールを何度か包み、ポリプロピレンテープやケーブルタイで端や継ぎ目などを密封します。

重量が30kg以下、長さが120cm以下の貨物

- 積み重ねが可能な二重構造の段ボール箱に包装した品物を入れることが望ましいです。「DHL エクスプレス貨物用梱包ガイド」に記載されているH型テーピング方法に従います。

重量が30kgを超える、または複数個口の貨物

- 長さ120cm、重さ30kgを超える場合は、木枠梱包し、フォークリフトで運搬可能な底部資材に固定することが望ましいです。
- 複数のカーペットや反物を一緒に束ねないでください。
- カーペットと反物はパレット上に積み重ねることができますが、その場合はロールを交互に積み重ねて(上の図を参照)、必ずシュリンク包装してから、固定バンドで固定して安定させる必要があります。

DHL Express,
Fritz-Erler-Strasse,
53113, Bonn,
Germany.
[dhl.com](https://www.dhl.com)

2022年1月1日より有効